

1. 被験物質

- (1) 一般名・剤型 ①ジノテフラン水溶剤 (アルパリン顆粒水溶剤)
②フルジオキシニル水和剤 (セイビアーフロアブル20)
③ピリダリル水和剤 (プレオフロアブル)
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①ジノテフラン 20.0%
②フルジオキシニル 20.0%
③ピリダリル 10.0%
- (3) 被験物質のLot No. ①77F10040 ②BAB129 ③BAB132

2. 農作物名 大玉トマト 品種名 C F 桃太郎はるか (台木: グリーンガード)
中玉トマト レッドオーレ (台木: グリーンガード)
ミニトマト ペペ (台木: グリーンガード)

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所

試験圃場所在地 茨城県牛久市結束町535番地

4. 試験責任者氏名 長岡 広行, 川北 充彦, 沼田 京太, 和田倉 誠也, 富田 恭範

5. 土性 砂土・砂壤土・壤土・埴壤土・埴土 (○を付す) 減水深 - cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度 (畝間・株間)・株数 (/10a)、水管理等、
被覆資材 (茶は茶いれ、砂層見し、いちご: おうとう葉の被覆時期、茶の裏いれ、トマト栽培の被覆時期を記載す)

露地・施設の別 施設 (ビニルハウス) 有袋・無袋の別 -

播種 (大玉トマト・中玉トマト・ミニトマト共通): 平成29年9月8日 (穂木, 台木)

定植: 10月26日 栽植密度: 畝間180cm 株間40cm 条間50m 2条植 2,780株/10a

10月25日マルチ被覆 (黒色, ポリフィルム) その他の管理は、慣行に従った。

施肥 (10a当たり): 各トマト共通 平成29年10月24日 過燐酸石灰 (0-17.5-0) 114kg
畑のカルシウム 80kg, マルチサポート1号 80kg

平成29年11月17日、12月12日ダーウィンFC-100 1000倍葉面散布 (大玉トマト、中玉トマトのみ)

平成29年11月17日 くみあい尿素複合液肥1号 (12-5-7) 33kg (大玉トマト、中玉トマトのみ)

平成29年12月12日 くみあい尿素複合液肥1号 (12-5-7) 33kg (大玉トマトのみ)

収穫期間 (適期): 大玉トマト 平成30年1月中~, 中玉トマト 平成30年1月上旬~

ミニトマト 平成29年12月下旬~

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ -
を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

10. 試験区

(1) 試験区の面積および本 (株) 数

処理区A (大玉トマト・中玉トマト・ミニトマト共通): 29.5㎡ (1.8m × 16.4m × 1畝) 82株

無処理区B (大玉トマト・中玉トマト・ミニトマト共通): 29.5㎡ (1.8m × 16.4m × 1畝) 82株

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 処理区A (PH12): 面積116.2㎡ 容積355.2m³ 高さ3.4m

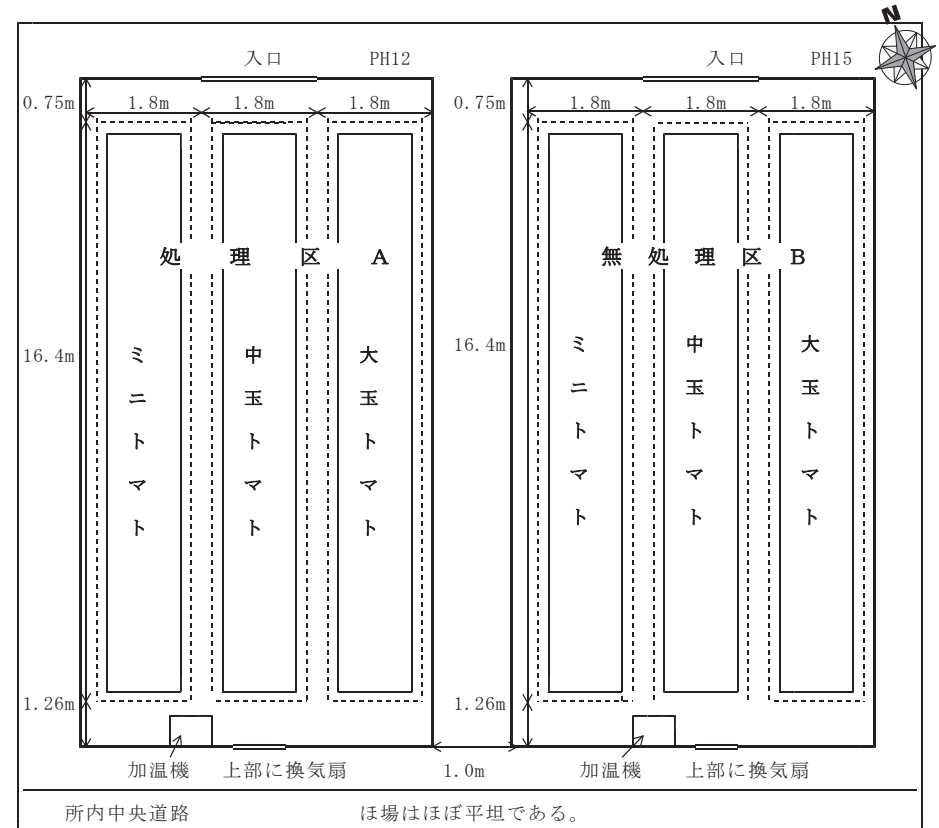
無処理区B (PH15): 面積116.2㎡ 容積355.2m³ 高さ3.4m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



ほ場はほぼ平坦である。

1.1. 処理方法 (下のA~G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

大玉トマト・中玉トマト・ミニトマト

区分 処理月日	A 区	B 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
				10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H30.1月15日	ジノテフラン水溶剤	無処理	2000倍	251L	大玉トマト : 3.7g/7.4L/29.5㎡ 中玉トマト : ミニトマト	収穫期 (草丈約200cm)	茎葉散布 (混用)
	フルジオキシニル水和剤		1000倍		大玉トマト : 7.4mL/7.4L/29.5㎡ 中玉トマト : ミニトマト		
	ピリダリル水和剤		1000倍		大玉トマト : 7.4mL/7.4L/29.5㎡ 中玉トマト : ミニトマト		
1月23日	ジノテフラン水溶剤	無処理	2000倍	251L	大玉トマト : 3.7g/7.4L/29.5㎡ 中玉トマト : ミニトマト	収穫期 (草丈約200cm)	茎葉散布 (混用)
	フルジオキシニル水和剤		1000倍		大玉トマト : 7.4mL/7.4L/29.5㎡ 中玉トマト : ミニトマト		
	ピリダリル水和剤		1000倍		大玉トマト : 7.4mL/7.4L/29.5㎡ 中玉トマト : ミニトマト		

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具 (機械)、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
			H30.1月15日	背負式バッテリー動噴 (丸山 MSB1500Li) に狭角コーンノズル (一頭口) を装着し、株全体に均一に散布した。
1月23日	大玉トマト : 9:38 ~ 9:46 時刻 : 中玉トマト : 9:50 ~ 9:58 ミニトマト : 10:05 ~ 10:13	天候: 晴れ (日中晴れ) 降雨、風の影響なし。		
月 日				
月 日				

(1) 展着剤 使用せず 使用した区番号 展着剤名 濃度または量

(2) 備考 -

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

大玉トマト

区分 採取月日	A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	D区 試料番号	E区 試料番号	F区 試料番号	G区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
1月23日	A-1	B (無処理)						時刻: B 8:40 ~ 8:48 A-1 14:00 ~ 14:10 天候: 晴れ	B → A	B 2.3kg A-1 2.2kg	1月23日
1月24日	A-2							時刻: A-2 8:32 ~ 8:42 天候: 晴れ	A	A-2 2.1kg	1月24日
1月26日	A-3							時刻: A-3 8:38 ~ 8:51 天候: 晴れ	A	A-3 2.2kg	1月26日
1月30日	A-4							時刻: A-4 8:52 ~ 9:03 天候: 晴れ	A	A-4 2.3kg	1月30日
2月6日	A-5							時刻: A-5 9:05 ~ 9:12 天候: 晴れ	A	A-5 2.2kg	2月6日

区分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
1月23日	1. 試料の大きさは(やや大きい) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は(やや早い) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因
1月24日	1. 試料の大きさは(やや大きい) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は(やや早い) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因
1月26日	1. 試料の大きさは(やや大きい) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は(やや早い) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因
1月30日	1. 試料の大きさは(やや大きい) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は(やや早い) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因
2月6日	1. 試料の大きさは(やや大きい) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は(やや早い) <input checked="" type="radio"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは(やや大きい) <input type="radio"/> 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は(やや早い) <input type="radio"/> 通常 やや過熟 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具(機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

各区、試験区境界部(南北)の株を除き、試験区全体からはさみを用いて採取した。採取の都度、試料についた花弁は手で除去した。試料は試料番号毎にプラスチック製のかごに入れた。

(2) 採取後の調製・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱殻: 梨すり等の方法、調製の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

採取した試料は、包装資材(ボークスペーパー)を敷いたダンボール箱(いずれも未使用)に入れ、ダンボール箱の上部の空間を包装資材を緩衝材として入れた後、箱に封をした。その際、ダンボール箱の内側に試験区ラベル、外側に梱包シールを貼った。作業は茨城研究所内試料調製室で行った。

(3) 試料送付先 分析機関: 一般財団法人 残留農薬研究所

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等

ヤマト運輸の冷蔵便で、いずれも到着を送付翌日午前中に指定して送付した。

(5) 備考 試料採取及び調製時は、清浄な手袋を装着し、手袋は試験区毎に交換した。

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

中玉トマト

区分 採取月日	A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	D区 試料番号	E区 試料番号	F区 試料番号	G区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
1月23日	A-1	B (無処理)						時刻: B 8:40 ~ 8:51 A-1 14:00 ~ 14:14 天候: 晴れ	B → A	B 2.1kg A-1 2.1kg	1月23日
1月24日	A-2							時刻: A-2 8:32 ~ 8:40 天候: 晴れ	A	A-2 2.1kg	1月24日
1月26日	A-3							時刻: A-3 8:38 ~ 8:49 天候: 晴れ	A	A-3 2.1kg	1月26日
1月30日	A-4							時刻: A-4 8:50 ~ 9:00 天候: 晴れ	A	A-4 2.1kg	1月30日
2月6日	A-5							時刻: A-5 9:05 ~ 9:15 天候: 晴れ	A	A-5 2.1kg	2月6日

区分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
1月23日	1. 試料の大きさは(やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
1月24日	1. 試料の大きさは(やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
1月26日	1. 試料の大きさは(やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
1月30日	1. 試料の大きさは(やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
2月6日	1. 試料の大きさは(やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは(やや大きい <input type="radio"/> 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い <input type="radio"/> 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具(機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

各区、試験区境界部(南北)の株を除き、試験区全体から手で採取した。試料は試料番号毎にプラスチック製のかごに入れた。

(2) 採取後の調製・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱殻: 梨すり等の方法、調製の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

採取した試料は、包装資材(ボークスペーパー)を敷いたダンボール箱(いずれも未使用)に入れ、ダンボール箱の上部の空間を包装資材を緩衝材として入れた後、箱に封をした。その際、ダンボール箱の内側に試験区ラベル、外側に梱包シールを貼った。作業は茨城研究所内試料調製室で行った。

(3) 試料送付先 分析機関: 一般財団法人 残留農薬研究所

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等

ヤマト運輸の冷蔵便で、いずれも到着を送付翌日午前中に指定して送付した。

(5) 備考 試料採取及び調製時は、清浄な手袋を装着し、手袋は試験区毎に交換した。

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

ミニトマト

区分 採取月日	A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	D区 試料番号	E区 試料番号	F区 試料番号	G区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
1月23日	A-1	B (無処理)						時刻: B 8:40 ~ 8:49 A-1 14:00 ~ 14:14 天候: 晴れ	B → A	B 1.2kg A-1 1.3kg	1月23日
1月24日	A-2							時刻: A-2 8:32 ~ 8:40 天候: 晴れ	A	A-2 1.2kg	1月24日
1月26日	A-3							時刻: A-3 8:38 ~ 8:48 天候: 晴れ	A	A-3 1.1kg	1月26日
1月30日	A-4							時刻: A-4 8:50 ~ 9:00 天候: 晴れ	A	A-4 1.1kg	1月30日
2月6日	A-5							時刻: A-5 9:05 ~ 9:20 天候: 晴れ	A	A-5 1.1kg	2月6日

区分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
1月23日	1. 試料の大きさは(やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
1月24日	1. 試料の大きさは(やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
1月26日	1. 試料の大きさは(やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
1月30日	1. 試料の大きさは(やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
2月6日	1. 試料の大きさは(やや大きい <input checked="" type="radio"/> 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い <input checked="" type="radio"/> 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは(やや大きい <input type="radio"/> 通常) やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い <input type="radio"/> 通常) やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法 使用した器具(機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

各区、試験区境界部(南北)の株を除き、試験区全体から手で採取した。試料は試料番号毎にプラスチック製のかごに入れた。

(2) 採取後の調製・梱包方法 試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱殻: 梨すり等の方法、調製の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

採取した試料は、包装資材(ボークスペーパー)を敷いたダンボール箱(いずれも未使用)に入れ、ダンボール箱の上部の空間を包装資材を緩衝材として入れた後、箱に封をした。その際、ダンボール箱の内側に試験区ラベル、外側に梱包シールを貼った。作業は茨城研究所内試料調製室で行った。

(3) 試料送付先 分析機関: 一般財団法人 残留農薬研究所

(4) 試料の輸送方法 到着日指定、温度指定、
輸送会社等

ヤマト運輸の冷蔵便で、いずれも到着を送付翌日午前中に指定して送付した。

(5) 備考 試料採取及び調製時は、清浄な手袋を装着し、手袋は試験区毎に交換した。

試験期間中の気象

観測地点および試料調製場所： 茨城県牛久市結束町535番地 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所 PH12

観測条件： 気温：平均気温（ 1 時間毎）、 降水量：日界（ 0 時間毎）

（ 30年 ）

○：薬剤処理日、△：試料採取日

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
1	気温℃ (施設内温度)															18.8	20.3	16.4	20.4	19.0	17.2	19.8	15.2	16.3	17.3	16.9	15.9	16.2	14.0	16.1	16.7	16.2		
	薬剤処理/ 試料採取															○								○ △	△		△					△		
	区番号 (試料番号)																								A-1 B	A-2		A-3					A-4	
2	気温℃ (施設内温度)	14.5	13.3	16.1	15.9	17.0	16.7																											
	薬剤処理/ 試料採取						△																											
	区番号 (試料番号)						A-5																											

観測機器：気温：T a n d D社製 おんどとり TR-71wf (気温は1:00~翌日0:00までの1時間毎の記録値より平均を求めた)

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

PH12 : 処理区A設置施設

無栽培	平成29年3月01日	テロン	20L/10a全面点注
ほうれんそう	平成29年3月23日 4月10, 17日	フォリオゴールド スルホキサフロアブル	1000倍灌注 2000倍散布
結球レタス	5月02日 5月12日 5月19日 5月22日	カンタスドライフロアブル セイビアーフロアブル20 KYF-1703水和剤 ダコニール1000 スミレックス水和剤 アフアーム乳剤 バリダシン液剤5	1000倍散布 1000倍散布 1500倍散布 1000倍散布 1500倍散布 1500倍散布 800倍散布
無栽培	7月18日 7月24日	ドジョウピクリン テロン	30L/10a全面点注 20L/10a全面点注

PH15 : 無処理区B設置施設

なばな	平成29年2月16日 4月04日	ガードホープ液剤 ダントツ水溶剤	3000倍散布 2000倍散布
無栽培	4月09日	テロン	20L/10a全面点注
なす	5月02日 5月22日 6月05、12、19、26日 6月07日 6月23日 6月29日 7月21日 8月07日 8月29日	イオウフロアブル ディアナSC イオウフロアブル アドマイヤー顆粒水和剤 アフアーム乳剤 S-2190 40SC アフアーム乳剤 ディアナSC イオウフロアブル モスピラン水溶剤 アグリメック イオウフロアブル コルト顆粒水和剤 アフアーム乳剤 アフアーム乳剤 コロマイト乳剤 AKI-0004SL アフアーム乳剤 ベルコートフロアブル アブロード水和剤	500倍散布 2500倍散布 500倍散布 5000倍散布 1000倍散布 3000倍散布 1000倍散布 2500倍散布 500倍散布 2000倍散布 4000倍散布 500倍散布 4000倍散布 1000倍散布 2000倍散布 1500倍散布 1000倍, 2000倍散布 2000倍散布 2000倍散布 1000倍散布
無栽培	9月20日 9月28日	ドジョウピクリン テロン	30L/10a全面点注 20L/10a全面点注

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

PH12 (処理区A)、PH15 (無処理区B) 設置施設共通

ミニトマト・中玉トマト・大玉トマト共通

平成29年9月22日 (育苗期)	モスピラン顆粒水溶剤	R U
10月6日 (育苗期)	スピノエース顆粒水和剤	R U
11月21日	イオウフロアブル	500倍散布
	トリフミン水和剤	5000倍散布
12月14日	スミレックスくん煙顆粒	6g/100m ³ くん煙
12月28日	フルピカフロアブル	2000倍散布
	コテツフロアブル	2000倍散布
	コルト顆粒水和剤	4000倍散布



写真1. 試験施設外觀(左:処理区、右:無処理区)



写真2. 栽培風景(左:大玉、中央:中玉、右:ミニ)



写真3. 散布風景



写真4. 初回散布直後の葉の濡れ(大玉トマト)



写真5. 初回散布直後の果実の濡れ(大玉トマト)



写真6. 初回散布直後の葉の濡れ(中玉トマト)



写真7. 初回散布直後の果実の濡れ(中玉トマト)



写真8. 初回散布直後の葉の濡れ(ミニトマト)



写真9. 初回散布直後の果実の濡れ(ミニトマト)



写真10. 茎葉の様子(大玉トマト)



写真11. 果実の様子(大玉トマト、第1果房)



写真12. 果実の様子(大玉トマト、第2果房)



写真13. 茎葉の様子(中玉トマト)



写真14. 果実の様子(中玉トマト、第1果房)



写真15. 果実の様子(中玉トマト、第2果房)



写真16. 茎葉の様子(ミニトマト)



写真17. 果実の様子(ミニトマト、第1果房)



写真18. 果実の様子(ミニトマト、第2果房)



写真19. 茎葉の様子(大玉トマト)



写真20. 果実の様子(大玉トマト、第1果房)



写真21. 果実の様子(大玉トマト、第2果房)



写真22. 茎葉の様子(中玉トマト)



写真23. 果実の様子(中玉トマト、第2果房)



写真24. 果実の様子(中玉トマト、第3果房)



写真25. 茎葉の様子(ミニトマト)



写真26. 果実の様子(ミニトマト、第3果房)



写真27. 果実の様子(ミニトマト、第4果房)

(農薬登録における作物群の導入のための試験委託事業 トマト)
④採取日毎の各試料の様子

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所



写真28. 大玉トマトA-1(0日後)



写真29. 中玉トマトA-1(0日後)



写真30. ミニトマトA-1(0日後)



写真31. 大玉トマトA-2(1日後)



写真32. 中玉トマトA-2(1日後)



写真33. ミニトマトA-2(1日後)



写真34. 大玉トマトA-3(3日後)



写真35. 中玉トマトA-3(3日後)



写真36. ミニトマトA-3(3日後)



写真37. 大玉トマトA-4(7日後)



写真38. 中玉トマトA-4(7日後)



写真39. ミニトマトA-4(7日後)



写真40. 大玉トマトA-5(14日後)



写真41. 中玉トマトA-5(14日後)



写真42. ミニトマトA-5(14日後)



写真43. 大玉トマトB(無処理)



写真44. 中玉トマトB(無処理)



写真45. ミニトマトB(無処理)